

平成30年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価に関する報告書  
(対象年度：平成29年度)

高萩市教育委員会

# 目 次

I	はじめに	
1	趣旨	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	1
4	外部評価委員	1
II	点検及び評価結果	
1	教育委員会の活動	2
2	教育委員会が管理・執行する事業	5
(1)	学校教育	5
(2)	生涯学習	15
(3)	市民文化	21
(4)	人権	27
III	外部評価委員会委員の意見	29
IV	参考資料	
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	30

# 1 はじめに

## 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成20年4月1日施行）の施行により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、公表しなければならないとされました。

このため、高萩市教育委員会では、法律が改正された趣旨に則り、より効果的な教育行政の推進を図るため、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書（平成29年度実績）」としてまとめ、議会に報告するとともに公表することとします。

## 2 点検及び評価の対象

本市の市政運営の基本である第5次高萩市総合計画「まちの安全・ひとの安心・しごとの活力 快適生活都市 高萩」及び教育委員会の運営の基本である「高萩の教育」における重点戦略を構成する施策のうち、平成29年度に教育委員会が実施した主な事務事業を点検及び評価の対象としました。

## 3 点検及び評価の方法

教育委員会が実施した事務事業を「1 教育委員会の活動」と「2 教育委員会が管理・執行する事業」に大別し、項目ごとに自己点検評価を行いました。

また、点検と評価の客観性を確保するために、事務局内部で実施した点検と評価報告について、教育に関し深い知識を有する者（外部評価委員）の意見を求めました。

## 4 外部評価委員

（敬称略）

氏 名	所 属
蛭 田 隆 久	元高萩中学校長
黒 澤 み の り	市社会教育委員
岡 田 勝	市体育協会会長

## II 点検及び評価結果

### 1 教育委員会の活動

#### (1) 教育委員会の構成

	氏 名	任 期
教育長	小 沼 公 道	平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
教育長職務代理者	関 矢 光 良	平成 29 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日
教育委員	鈴 木 智 恵 子	平成 25 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日 平成 29 年 10 月 1 日～平成 33 年 9 月 30 日
教育委員	鈴 木 幸 男	平成 26 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日
教育委員	増 子 恵 美	平成 28 年 10 月 1 日～平成 32 年 9 月 30 日

#### (2) 平成 29 年度教育委員会月別開催状況

教育委員会では、付議された案件についての審議や報告等を行う定例会を毎月 1 回開催する他に、必要に応じて臨時会を開催しました。また、教育委員の意見交換や研修活動等の場として協議会を開催しました。

教育委員会では、21 件の議案と 5 件の報告について審議しました。人事案件や教育委員会規則の制定又は一部改正等について慎重かつ迅速な審議が適正に行われました。これらにおいては、本市の教育行政について様々な視点から建設的に議論されてきました。

教育委員会では、第 5 次高萩市総合計画で示された主要施策である「たくましさを育む「教育・文化」」の実現に向けて、様々な事業の展開に努めてきました。

(単位 回)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
臨時会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2

#### (3) 学校訪問

教育委員会と学校現場が互いに共通認識を持ち、より良い学校教育を推進することを目的として、学校園訪問を実施しています。教職員が実際に指導している様子や子どもたちの様子を把握するとともに、学校及び園での取り組みや課題について意見交換を行っています。

月 日	場 所
5 月 22 日	高萩中学校、秋山中学校、松岡中学校、松岡幼稚園
5 月 23 日	高萩小学校、松岡小学校、第一幼稚園、秋山幼稚園
5 月 24 日	東小学校、秋山小学校、東幼稚園

12月12日	高萩中学校、秋山小学校、秋山中学校、第一幼稚園
12月13日	高萩小学校、東小学校、松岡中学校、秋山幼稚園 東幼稚園
12月14日	松岡小学校、松岡幼稚園

(4) 教育委員研修

国・県・他自治体の取組等に触れる機会を設け、委員としての見識を深めるため、研修に参加してきました。

月 日	場 所	内 容
4月25日	日立市教育会館	県北市教育委員会連絡協議会定期総会 ・ 県北教育管内の教育行政について ・ 各市教育委員会の現状と課題
5月30日	水戸市総合教育研究所	茨城県市町村教育委員会連合会総会及び講演会 【講演】 「心の叫びーいじめの問題を考えるー」 講師 黒岩 禅
8月31日	茨城県教育研修センター	茨城県市町村教育委員会研修会 【講演】 「教育に携わる者の責任」 講師 上甲 晃 【行政説明】 「いじめ防止対策推進法について」
11月9日	つくば国際会議場	市町村教育委員会研究協議会 【行政説明】 「初等中等教育をめぐる最近の動向について」 【基調講演】 「学校・家庭・地域の役割分担と教育力の充実について」 講師 山野 則子 【パネルディスカッション】 「家庭の教育力向上のための教育委員会の役割」 コーディネーター 山野 則子 パネリスト 三幣 貞夫 飛田 隆 小沼 公道 【事例発表・研究協議】 「家庭教育に対する支援について」 発表者 南房総市教育委員会 高萩市教育委員会

11月20日	水戸市総合教育事務所	茨城県市町村教育委員会連合会教委次長等研修会 及び茨城県都市教育長協議会・茨城県町村教育長会 特別研修会 ・いじめ問題の概要について ・関係法令を含めたいじめ問題への対応について 講師 坂田 仰
--------	------------	--

## 2 教育委員会が管理・執行する事業

### (1) 学校教育

少子化に対応し、良質な学校教育を通して、いきいきとした萩っ子を育てます。

事業名	① 教育環境の整備			
めざす姿	○教育施設・設備等の充実が児童生徒の学力向上につながっています。 ○少子化時代に対応した学校等を適正に配置しています。			
担当課	教育総務課			
取組内容と成果	○教育環境の改善を図るため、秋山小学校南側校舎屋上防水改修、高萩小学校・高萩中学校・松岡中学校キュービクル改修、高萩小学校・高萩中学校・秋山中学校・松岡幼稚園の空調設備整備、高萩中学校トイレ改修等を行った。			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の課題と取組	○児童・生徒数の減少と学校施設の老朽化を鑑み、適正な学校規模とより良い教育環境の提供を引き続き検討する必要がある。 ○幼稚園のあり方や施設の耐震化が課題となっているため、検討する必要がある。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	目標値 (H32)
適正な規模の小学校の割合	60.0%	60.0%	75.0%	75.0%	スムーズな学校運営ができる体制
適正な規模の中学校の割合	25.0%	25.0%	66.6%	66.6%	

外部評価 委員の評価	<p>○学校施設老朽化に伴う整備・改修は、予算との兼合いもあるところでの実施に多大な取り組みがうかがえる。今後も引き続きの環境整備に期待するところである。</p> <p>○継続課題である「幼稚園の耐震化」について、整備着手への努力の必要性が感じられる。</p> <p>○教育環境改善の取り組み内容を見てみると、経年劣化や老朽化等の言葉が出てくる。数多くの修繕が計画的に実施されている様子が見える。</p> <p>○施設の老朽化に対して、改善対策が十分とられていると思う。</p> <p>○幼稚園の耐震化においては、大きな地震等が今後、予想されるため、早急な対策をお願いしたい。</p>
---------------	--



事業名	② 確かな学力の定着			
めざす姿	○基礎・基本が確実に定着されています。			
担当課	学校教育課			
取組内容と成果	<p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」による読書活動を推進した。</p> <p>小学校の国語の授業で行っている並行読書の成果もあり、読書量は概ね達成している。一方、中学校では前年度に比べ読書量が減ってしまった。</p> <p>小学校 4～6年：年間 50冊以上 603人（93.8%） ※平成 28年度 605人（89.8%）</p> <p>中学校 1～3年：年間 30冊以上 149人（20.3%） ※平成 28年度 189人（24.8%）</p> <p>（県の目標は小学校 77%、中学校 23%）</p> <p>○漢字カテストや算数・数学カテスト等で努力すれば結果が出る経験を積ませ、達成感、自己有用感を高めることで学力下位層の引き上げ指導を行った。</p> <p>○訪問指導を通し、学び合いによる問題解決的な学習を推進させ、主体的で対話的な学びを引き出すよう指導助言した。その結果、画一的な一斉指導は減ってきている。</p> <p>○思考の可視化に努めさせ、ノート指導を充実させた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の課題と取組	<p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」による読書活動をより一層推進するとともに、国語の授業においてビブリオバトル（書評合戦）を推奨するなど質の高い読書を目指したい。</p> <p>○授業が主体的・対話的で深い学びとなるよう、訪問指導や研修会を通して指導・改善する。</p> <p>○市ノート展を開催し、学習ノートのグッドモデルを提示することにより、整理されたノート、思考が可視化されたノートなどについて考える機会とする。また、教員には、授業の意図が見えるノートを意識させ、児童生徒へのノート指導の参考となるようにする。</p> <p>○中学校資格検定補助事業により、学校全体で検定に対する意欲を高めるとともに、家庭学習の充実を図る。</p> <p>○採用 3 年目までの若手教員を対象に、授業力向上を目的とした研修を計画的に実施することで、若手教員の資質・能力の向上を目指す。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	目標値 (H32)
学力診断テスト市平均点と県平均点との差	-1.37点	-1.9点	-1.5点	-2.3点	+0.5点
家庭学習を1時間以上行っている児童生徒の割合	68.4%	64.9%	70.0%	67.5%	80.0%
読書が好きな児童生徒の割合	50.75%	50.8%	54.1%	53.7%	65.0%
幼稚園へのALT(外国語指導助手)等派遣回数	3回	3回	3回	14回	6回

外部評価委員の評価	<p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」の読書量の成果として、小学校4～6年は昨年より上昇して素晴らしいが、中学校1～3年は約3%減少し、20.3%である。これは、県目標値の23%を下回っている。原因がどこにあるのか検討し、上昇に繋げるよう努力が必要だと感じられる。</p> <p>○問題解決的学習の推進により、「対話的」な学びを引き出したことは、高く評価したい。</p> <p>○幼稚園へのALT派遣回数が昨年より4倍に増加していることは、英語が世界共通語として確立している動きに対処しているとして、高く評価したい。</p> <p>○「みんなに進めたい一冊の本推進事業」の読書量については、県平均を小学校は大きく超えている。関係職員の方の賜物と思う。今後も継続してほしい。</p> <p>○漢字力テストや算数・数学力テストにおける下位層への引き上げ指導は、今後も引き続き力を入れて指導してほしい。</p> <p>○今後の取り組みの中で、若手教員の授業力向上には、教科等指導員のほかに退職教員の活用なども考えられる。</p> <p>○学力診断テストの市平均値が昨年度より落ちているのが気になる。</p> <p>○年度により変化はあるものの、今後とも目標値を目指してもらいたい。</p> <p>○若手教員の授業力向上の研修の実施は大いに期待する。</p>
-----------	---

事業名	③ 豊かな心の育成			
めざす姿	○豊かな心が育まれ、より良い人間関係を築いています。			
担当課	学校教育課			
取組内容と成果	<p>○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」を市内全体で取り組むよう指導した。(身だしなみ・掃除・挨拶・時間)</p> <p>○Q Uアンケートを実施して学級内の人間関係の把握に努めることで、より良い学級づくりといじめ防止につなげた。</p> <p>小学校のいじめ認知件数は123件、中学校の認知件数も50件であった。悪口やからかい、仲間はずれ、LINEによる悪口、中傷などで、いずれも解消となり、経過観察・指導継続となっている。</p> <p>○道徳の授業の確実な実施を目指し、12月には若手教員による道徳授業公開を行った。また、計画訪問等における道徳の授業参観及び指導助言を通して、読み物資料のあらすじを追う展開からの脱却と「考え・議論する道徳」の実践に努めた。</p> <p>○協働する経験や豊かな体験活動を幼児教育から充実させた。また、園児の遊びを学びにかえる教員からの「問い」の質の向上に努めた。</p> <p>○地域のボランティア活動や行事への参加、特別支援学校との交流、高齢者との触れ合いなど、心の触れ合いの場を積極的に設定して思いやりや助け合いの心を育成した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の課題と取組	<p>○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」の取組状況については、学校間に差がある。校長会や生徒指導主事研修会で確認するとともに、学校訪問により状況を確認して指導する。</p> <p>○個人向けの分析結果の出るハイパーQ Uアンケートを実施し、児童生徒一人一人にとって居心地のよい学級づくりに一層努める。また、ハイパーQ Uアンケート活用の研修会を開催する。</p> <p>○指導力のある若手教員による道徳授業公開を継続することで、質の高い道徳の授業実践に向けて研修を充実させる。</p> <p>○学級担任の学級経営力の差が大きい。ライオンズクエスト研修や授業力向上研修などを活用して指導力向上に努める必要がある。</p>			

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	目標値 (H32)
自分にはよいところがある と思う児童生徒の割合	71.8%	69.4%	73.2%	72.5%	79.9%
人の役に立つ人間になりた いと思う児童生徒の割合	74.8%	75.7%	72.4%	67.6%	85.4%

外部評価 委員の評価	<p>○ボランティア活動や異文化交流によって、情緒豊かな「心の育成」への取り組みが伺える。今後も継続するよう期待したい。</p> <p>○「考え・議論する道徳」実施は、画一的でなく、個々の意見を明確に示すことが習得できるので、将来、国際的フィールドで活躍する人間育成への意気込みを感じる。</p> <p>○小中のいじめの認知件数の増加は、いじめに真剣に取り組む教職員の姿勢の表れと感じる。今後も、今回のようにすべて解消であることを期待している。</p> <p>○ハイパーQ Uアンケートの実施で、人間関係把握に努めることは大変良いことだと思うので、教員の負担にならない程度に今後も実施してほしい。</p> <p>○秋山中の道徳の成果を市内で具体的に共有したい。</p> <p>○いじめの認知件数が昨年度より増えているのは気になる。結果としては解消、経過観察となっていることには大いに評価したいと思う。今後ともいじめゼロに向けて学校、家庭の連携を密にお願いしたい。</p>
---------------	---

事業名	④ 健やかな体力の向上			
めざす姿	<p>○健やかな体を持ち、理想や自己の目標に向かって努力する強い意志を持っています。</p> <p>○安全でおいしい給食が提供されています。</p>			
担当課	教育総務課・学校教育課			
取組内容と成果	<p>○スポーツテストの結果を分析し、落ち込みの見られる項目を授業前のサーキットトレーニングに組み込んだり、授業内容で強化したりするなどの手立てを講じた。</p> <p>幼稚園教育の中で、小中学校で課題の見られる投力や瞬発力を向上させる遊びを意図的に取り入れた。</p> <p>○各中学校では、運動部活動の充実が図られ、生徒の自主性・主体性を高める運営に努めた。</p> <p>○心臓及び尿検査については、個人の病歴によるものが大きいと考えられるが、生活習慣改善の教育等を通して、要精密者の減少につなげた。</p> <p>○児童・生徒に必要な栄養を確保するために適量を提供しているが、近年の児童生徒の偏食などにより残食率は横ばい傾向となった。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の課題と取組	<p>○児童・生徒の体力向上については、課題の見られる運動能力の向上に努める。また、体育集会やスポーツチャレンジを通して運動への興味関心を高める。</p> <p>○中学校の運動部の活躍に対し、県大会以上の大会に出場する際に交付する「ジュニア萩っ子各種大会応援補助金」により、今後も、市全体で萩っ子を支援していく。</p> <p>○「高萩市運動部活動の運営方針」を策定することで、適正な時間管理の下、合理的でかつ効率的・効果的な部活動運営に努める。</p> <p>○学校給食における残食率改善については、今後、栄養教諭を活用した「食育」を更に推進し、各小・中学校と連携し残食を減らすよう努める。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	目標値 (H32)
児童生徒体力テスト (A、B評価の割合)	63.7%	59.0%	64.6%	66.6%	65.0%
学校給食の残食率	21.0%	21.4%	19.8%	19.5%	19.0%

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○幼稚園教育の中で意図的に、遊びを通して児童・生徒の課題となっている投力・瞬発力向上に努めたことは指導者間の連携を感じた。また、その結果でもある体カテストのA B評価の割合が、年々上昇しているという成果が生じた。関連担当者の意気込みを高く評価したい。</p> <p>○幼稚園教育と小学校教育の連携を図り、小学校での課題の見られる項目に意図的に取り組んだことは是非継続してほしい。</p> <p>○「高萩市運動部活動の運営方針」を策定し、合理的でかつ効率的・効果的な部活動運営に努めるとき、中学校における部活動のねらいを外部指導者にも十二分に理解していただくような機会を持ってほしい。</p> <p>○スポーツテストの分析により体カテストの結果が目標値を上回ったことは、良い結果と思う。今後の更なる体カ向上を期待する。</p> <p>○高萩市運動部活動の運営方針の策定による部活動の効率的、効果的な運営のため外部指導者の導入をお願いしたい。</p>
------------------	--

事業名	⑤ 開かれた学校運営			
めざす姿	○地域の子どもたちの成長・発達を保育所、幼稚園、小学校、中学校と家庭、地域がお互いに連携して取り組んでいます。			
担当課	学校教育課			
取組内容と成果	○校種間連携事業「ユニット4」(10年以上続けている事業)により小学校区ごとにユニット事業を推進し、保幼小中が連携した学校行事や授業の交流を行った。 ○はぎッズサポーターの活用を通し、地域とともにある学校づくりを進めた。子どもたちは多様なサポートにより学習を充実させることができた。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の課題と取組	○校種間連携事業「ユニット4」(君田地区のユニットが松岡に統合)の会議を充実させ、ねらいを明確にした交流ができるようにする。 ○各学校に地域連携コーディネーターを配置し、学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力した教育を推進する。また、コミュニティ・スクールを推進するとともに、全校導入に向けた取組の充実を図る。 ○地域連携コーディネーターを中心に、はぎッズサポーター等の地域の人材の活用を充実させ、本物を見せる授業、地域と協働して子どもたちを育てる学校づくりを推進する。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	目標値 (H32)
学校・家庭・地域が連携して教育がなされていると思う市民割合	29.4%	—%	—%	—%	46.3%
豊かな心を育み、萩っ子が生き生きと育つ学校教育が推進できていないと思う市民の割合	13.0%	—%	—%	—%	7.7%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<p>○はぎッズサポーター制度の高齢者の技術や経験を生かした多様なサポートを活用した結果、学習の充実に繋げた成果は高く評価したい。</p> <p>○コミュニティ・スクールの全校導入については、その趣旨等を職員一人ひとりに理解させることが大切。</p> <p>○はぎッズサポーター等の地域人材活用は今後も継続してほしい。</p> <p>○ユニット4による保・幼・小・中の連携した交流活動に今後とも期待する。</p>
---------------	--



(2) 生涯学習

自分に合った手段や手法で学び、それを活かして生活し、充実感を得られるよう生涯学習を推進します。

事業名	① 生涯学習機会の充実			
めざす姿	○国際化や情報化社会など直面している課題への取組や一人ひとりの状況に応じたきめ細かな学習機会が提供され、人と人との連携や世代間交流が拡大しています。			
担当課	生涯学習課			
取組内容と成果	<p>○生涯学習情報誌「学びいき高萩 2017」を作成（550部）し、関係機関へ配付した。</p> <p>○地域の人材であるはぎっズサポーターの活用により、地域社会と学校との連携を図った。（延べ419人活動）</p> <p>○市民団体等との連携により「いきいき萩っ子育成事業」を実施し、子どもから高齢者まで交流できる機会を設けた。（「カレンダーを作ろう」「ひな人形を作ろう」）</p> <p>○子ども向けの講座や短期講座など、市民のニーズに合った講座を新たに開設した。</p> <p>○青少年相談委員協議会や子ども会育成連合会と連携し、体験活動を実施した。（「サマージャンボリー」「少年探検講座」「萩っ子歴史探検隊」）</p>			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の課題と取組	<p>○複数あるボランティア組織の整理と効果的な活用</p> <p>○協働のまちづくりに向けた人材の把握</p> <p>○学校教育支援体制の整備</p> <p>○市民ニーズの把握及び事業化（講座開設等）</p>			

主要事業指標 （総合計画の成果指標）	基準値 （H26）	H27	H28	H29	目標値 （H32）
生涯学習機会が充足していると思う市民割合	16.1%	－%	－%	－%	25.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<p>○子どもたちの体験活動は、将来の協調性を養うためにも素晴らしい事業だと高く評価したい。</p> <p>○他団体との連携事業など、生涯学習課で取り組んでいる事業は、多岐にわたり工夫して取り組み、効果が上がっている所以今後とも継続してほしい。</p> <p>○はぎッズサポーターのボランティア活動（述べ 419 人登録数 74 人）は、素晴らしい活動状況と思う。今後とも地域社会と学校の連携をさらに深めてもらいたいと思う。今後の生涯学習については、市内各種団体（ボランティア団体も含めて）連絡協議会などの設立はどうかと思う。</p>
---------------	---

事業名	② 生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興			
めざす姿	○創意工夫を活かした特色ある講座やスポーツ、レクリエーションなど様々な事業が展開され、子どもから高齢者まで多くの市民が年齢や体力に応じ気軽にスポーツに親しんでいます。			
担当課	生涯学習課・国体推進室			
取組内容と成果	<p>○市内小中学校の体育館やプール等の体育施設を学校教育に支障のない範囲内で市民へ開放を行った。</p> <p>学校体育館の開放については、空きがなく、利用団体間で調整を行い、利用できた。</p> <p>○市長杯争奪軟式野球大会、歩く会、たかはぎ駅伝等を実施し、多くの市民が参加した。</p> <p>○国民体育大会本県開催に向け、地元から優れた人材を発掘するため、茨城県ウエイトリフティング協会副会長 福田太公氏を講師として小・中学生を対象としたウエイトリフティング教室を実施した。</p> <p>年々ウエイトリフティング教室の参加者が増加し、インターハイや中学生の全国大会に出場している。</p>			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の課題と取組	<p>○「ふれあい スポーツフェスティバル」の参加者が横ばい状態であるため、魅力あるニュースポーツ、レクリエーション等を検討し、見直す。</p> <p>○学校プール開放については、天候等の問題もあるが、開放日程を見直す。</p> <p>○公道で実施している歩く会及びたかはぎ駅伝については、参加者の安全確保のため、より安全なコースへの変更を検討する。</p> <p>○ウエイトリフティング競技力の向上を図る。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	目標値 (H32)
各種スポーツイベント等への参加者数	3,454人	－人	－人	－人	3,500人
週1回以上スポーツを行っている市民割合	26.3%	－%	－%	－%	30.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○「公道で実施している歩く会及びたかはぎ駅伝について、参加者の安全確保のため安全なコースへの変更を検討する」の課題は昨年同様である。</p> <p>○「今後の課題と取組」の中の、学校プール開放については、どのような方法を市民が希望しているのかアンケートをとるなどしてみてはどうか。</p> <p>○学校開放の一環であるプール開放については、利用者減少とのこと、一般市民の利用しやすい曜日及び時間の設定をお願いします。</p> <p>○学校体育館の開放については、利用団体との調整は多くの利用団体がスポーツを楽しみ、体力増強にもつながる。今後とも多くの団体が利用できる調整をお願いしたい。</p> <p>○ウエイトリフティング教室については、素晴らしい結果と思う。今後とも、人材の育成をお願いしたい。</p>
-----------------------	--

事業名	③ 社会教育施設の整備と活用			
めざす姿	<p>○市民のニーズに合った適正配置が進み、管理体制が整い市民に愛される施設として有効活用されています。</p> <p>○広い市域に分散している社会教育施設の老朽化に伴い、統廃合や整備、適正な規模の確保並びに配置に努め、有効活用されています。</p>			
担当課	生涯学習課			
取組内容と成果	<p>○各施設の老朽化による扉開閉不具合、エアコン故障等の修繕を実施した。</p> <p>○消防法の改正に伴い、市民体育館及び高浜スポーツ広場の非常用放送設備設置工事を実施した。</p> <p>○市民体育館の雨漏り修繕を部分的に実施した。</p> <p>○施設トイレの一部洋式化により利用者の利便性向上を図った。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の課題と取組	<p>○全施設において、老朽化が進んでおり、計画的な改修及び修繕が必要である。</p> <p>○市民体育館屋根が老朽化により雨漏りしているため、雨漏り箇所付近の修繕により対応している。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	目標値 (H32)
社会教育施設の平均稼働率	87.0%	87.7%	86.5%	86.2%	90.0%

外部評価 委員の評価	<p>○社会教育施設の平均稼働率が年々減少し、基準値より0.8%下回っている。平成32年度の目標値90%が達成されるよう手立てを考えてほしい。</p> <p>○老朽化した施設は、早急に修繕し有効活用されるようお願いしたい。</p> <p>○継続して、社会教育施設の稼働率が8割後半を維持しているのは素晴らしい。各施設の老朽化による改修・修繕は継続して実施してほしい。</p> <p>○市民体育館の雨漏り修繕については、本格的な改修が始まるとのこと、早急な対策をお願いしたい。市民体育館の建て替えについても、今後、検討してもらいたい。</p>
---------------	--

(3) 市民文化

多様な文化に触れ、心豊かに暮らせるよう、伝統文化・芸術文化・国際交流などの市民活動を推進します。

事業名	① 芸術文化の振興			
めざす姿	○市民や文化協会等の自主的な芸術文化活動への支援が充実していることから、市民のニーズの変化に合った魅力あるイベントが開催され、質の高い芸術・文化に触れる機会が充足しています。			
担当課	生涯学習課			
取組内容と成果	○文化祭や子ども文化教室一日体験講座等を実施し、文化に親しむ機会を提供した。 ○第10回芸術鑑賞の旅を実施し、海外の芸術文化に触れる機会を提供した。			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の取組と課題	○文化団体構成員の高齢化による文化協会脱会がみられるため、若年層の取り込みが必要。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	目標値 (H32)
文化祭等事業への参加者数	6,238人	－人	－人	－人	6,650人
芸術・文化活動の機会の充足度	59.5%	－%	－%	－%	65.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<p>○子ども文化教室の1日体験講座に子どもが約100人参加し、昨年より約20人増加している。担当者の素晴らしい取り組みを高く評価したい。</p> <p>○各団体の実施する活動の本来の目標を再度確認し、本当に必要な事業を検討する機会があってもよいのでは。</p> <p>○芸術鑑賞の旅については、海外・国内において、質の高い芸術・文化に触れることは、今後、高萩の芸術文化活動により良い効果が出ると思う。引き続き継続をお願いしたい。</p>
---------------	---



事業名	② 文化財の保護・活用			
めざす姿	○郷土の貴重な文化財を保存・伝承するとともに展示や広く周知することにより、市民の文化財に対する関心が高まり、親しむ機会も増えています。			
担当課	生涯学習課			
取組内容と成果	<p>○市内文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・穂積家住宅の適正管理を行った。</li> <li>・文化財の利活用として、古民家レストラン、手作りひな人形まつりを実施した。</li> </ul> <p>穂積家住宅の年間来場者数 19,675人  (うち、レストラン期間入場者 10,241人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9/23～12/3：古民家レストラン</li> <li>・2/18～3/3：手作りひな人形展示</li> </ul>			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の課題と取組	<p>○穂積家住宅の茅葺屋根葺き替えの必要性について検討  (前回葺き替え後16年経過 H22年度一部補修)</p> <p>○穂積家住宅衣裳蔵外部漆喰修繕の必要性について検討</p> <p>○安良川八幡宮爺杉の適正管理について検討</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	目標値 (H32)
市内の文化財に親しんでいる市民の割合※	62.3%	—%	—%	—%	65.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<p>○穂積家住宅における古民家レストラン利活用は、昨年より約2千人減少している。しかし、期間入場者1万人というデータから、ほぼ定着しているよう感じられた。</p> <p>○市内文化財の保護・活用として、穂積家住宅と八幡宮爺杉については、目に触れる機会が多いが、他のものについても同様に広報してほしい。</p> <p>○穂積家・八幡宮爺杉は、高萩市の数少ない文化遺産である。今後とも、適正な管理をお願いしたい。</p> <p>○穂積家の古民家レストランの運営については、長期間の運営を検討願う。</p>
---------------	---

事業名	③ 市民による国際交流推進			
めざす姿	○市内外の外国人や外国文化と交流を行う人が増加しています。			
担当課	生涯学習課			
取組内容と成果	○高萩市国際交流協会事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流の集い 都内大学留学生 29 人のホームステイを実施</li> <li>・世界のグルメ講座 ユダヤの家庭料理講座（講師：ジョー・ブライヤーさん（高萩高校・東海高校 ALT））</li> <li>・文化交流会 マダガスカル共和国の文化について（ラスアナイブ・スアルニチャ・ジェシカさん（茨城キリスト教学園高等学校英語教師））</li> <li>・海外派遣事業 市内中学生 7 人をハワイへ派遣</li> </ul>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の課題と取組	○国際交流の集い事業の見直し（ホストファミリー確保が困難） ○海外派遣事業の見直し（応募者の減・派遣先の受け入れ態勢に問題あり） ○市内在住の外国人との交流事業の企画			

主要事業指標 （総合計画の成果指標）	基準値 （H26）	H27	H28	H29	目標値 （H32）
過去 2 年以内に市内外の外国人や外国文化と交流している又は交流したことがある市民割合	10.0%	-	-	-	10.0%

※第 5 次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<p>○ALTを講師とした「世界グルメ講座開催」は、ユダヤの家庭料理の調理にとどまらず、講師との異文化交流の場としても盛り上がった。このことから、国際交流の成果が上がっているように伺える。担当者の意気込みを高く評価したい。今後も継続し、更なる事業の展開を希望する。</p> <p>○国際交流については、将来の見通しの上に立った事業について検討してほしい。</p> <p>○国際交流のつどいについては、長年続いている事業だが、ホストファミリーの確保が難しい状況課題としている見直しは必要と思う。市内在住の外国人との交流の企画は、ぜひ進めてもらいたい。</p>
---------------	--

(4) 人権

市民一人ひとりの人権が尊重されるまちを構築します。

事業名	① 学校における人権教育の推進			
めざす姿	○学校教育や生涯学習などの場において人権教育が実施され、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解が深化しています。			
担当課	学校教育課			
取組内容と成果	<p>○各学校において人権教育推進全体計画を作成し、人権尊重の視点に立った学校づくりを行った。</p> <p>○人間関係のトラブルに関する生活指導や生徒指導の場面で、相手の立場や気持ちを考えさせる指導を行っている。また、学期に1回以上の生活アンケートの実施により、いじめやトラブルの早期発見に努めた。</p> <p>○児童生徒による「人権メッセージ」作成、人権啓発ビデオ・「みんなえがお」（人権教育指導資料）を用いた教員研修、情報モラル研修などにより、人権感覚を高めるように努めた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の課題と取組	<p>○悪口やからかいなど、いじめに当たる行為はなくなっていない。引き続き、教育活動全体を通して人権意識を高めるとともに、道徳の授業において人権尊重の意識を高め、様々な体験活動を通して実践力を高める指導を充実させる。</p> <p>○17項目の人権課題に対して、知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に表れるような人権感覚の涵養に努める。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	目標値 (H32)
学校教育や生涯学習などの場において人権教育が実施され、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解が深化している。	76.8%	78.6%	83.9%	78.8%	87.5%

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○「人権教育が実施され、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解が深化している」の成果指標が、昨年度よりマイナス5%になり、前年度同様の約78%に戻った。平成32年の87.5%の目標値を達成されるよう手立てを考えてほしい。しかし、「いじめ認知件数」が年間173件、その中での重篤件数が36件ある中で、3か月経過観察を経て、全て解消済となっていることは、教員のいじめゼロへの取り組みの成果であると高く評価したい。</p> <p>○各学校をまわると、児童生徒の「人権メッセージ」の看板が目立つ場所に掲示されており、学校における人権教育の取り組みが推進されていることがよくわかった。</p> <p>○いじめをなくす人権教育は、なくてはならないものと思う。子どもたちが、人を思いやる心を今後とも育ててほしい。</p>
-----------------------	--

### Ⅲ 外部評価委員会委員の意見

- 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」の事業の取り組みを高く評価し、更なる向上に期待します。
- 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」のまとめ大変ご苦勞様でした。昨年度の反省をもとに、ひとつひとつ改善の跡がうかがえました。これだけ多くの取り組み内容について、成果、課題、指標をまとめるのは大変だったと感じています。
- 以前の高萩市のように人口3万人を超えていた時代とは違い、年齢構成も違い、男女の格差もなくなり、地域との関わりも薄くなり、個中心の考えが広まった時代、そんな時代だからこそ必要な点検と評価にしていければと思います。これだけ多くの取り組み内容について成果、課題、指標をまとめ評価をしている姿に頭の下がる思いです。
- 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」については、各担当課の皆様方には高く評価いたします。  
今後とも、より良い高萩市の教育の発展に期待いたします。

#### IV 参考資料

##### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。